



2026年3月期 第2四半期 (中間期) 決算短信 (日本基準) (非連結)

2025年11月12日

上場会社名 浅香工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5962 URL <https://www.asaka-ind.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岡田 実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 田中 隆信

TEL 072-229-5137

半期報告書提出予定日 2025年11月13日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期 (中間期) の業績 (2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	4,328	△6.6	148	△48.0	160	△48.4	109	△49.2
2025年3月期中間期	4,635	3.7	286	29.2	310	16.9	214	18.5

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	113.51	—
2025年3月期中間期	223.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	7,261	4,368	60.2	4,548.16
2025年3月期	6,844	4,222	61.7	4,396.08

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 4,368百万円 2025年3月期 4,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 3月期の業績予想 (2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	0.6	200	△34.4	220	△34.6	150	△34.1	156.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,037,080 株	2025年3月期	1,037,080 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	76,479 株	2025年3月期	76,472 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	960,606 株	2025年3月期中間期	960,608 株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大に加え、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、中東・東欧の地政学的リスクの長期化や米国の通商政策の影響の他、原材料やエネルギー価格の高止まりや物価上昇による消費者マインドの悪化等、依然として景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような情勢下におきまして、ショベル類を含む生活関連用品については、お客様の視点に立った製品開発および既存商品の改良改善を行い、積極的な営業活動に努力してまいりました。その中で更なる販売価格改定や消費動向の変化等による影響がありましたが、除雪関連用品の早期受注分が増加したこと等により増収となりました。一方、物流機器類については、引き合い案件が減少傾向にある中で売上高は比較的順調に推移いたしましたが、売上計上案件が集中した前中間期と比較すると減収となりました。これらの結果、売上高は4,328百万円（対前年同期比6.6%減）となりました。

利益面につきましては、コストの低減と諸経費の節減等に努めましたが、物流機器類の大幅な減収により、営業利益は148百万円（対前年同期比48.0%減）、経常利益は160百万円（対前年同期比48.4%減）、中間純利益は109百万円（対前年同期比49.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（生活関連用品）

ショベル類につきましては、販売価格改定や消費者マインドの悪化等の影響によるお客様の買い控えの傾向がある中、新製品の2wayショベル等を中心に積極的な営業活動を行いました。国内向け売上高は348百万円（対前年同期比1.4%減）となりました。輸出においては、前中間期はアメリカ向けの売上低迷や中央アフリカ向けの出荷の遅れ等がありましたが、当中間期は比較的順調に推移し、売上高は39百万円（対前年同期比29.5%増）となり、ショベル類全体の売上高は387百万円（対前年同期比1.1%増）となりました。

アウトドア用品類、工事・農業用機器類につきましても、一部商品類の更なる販売価格改定の影響等により買い控えの傾向がある中、除雪関連用品の早期受注分や猛暑による散水関連用品の売上が伸び、売上高は2,466百万円（対前年同期比4.8%増）となり、生活関連用品全体の売上高は2,854百万円（対前年同期比4.2%増）となりました。

（物流機器）

物流機器類につきましては、引き合い案件が減少傾向にある中で懸命な受注活動を行った結果、受注金額では前期実績を上回り、売上高につきましても比較的順調に推移いたしましたが、売上計上案件が集中した前中間期と比較すると減収となり、売上高は1,473百万円（対前年同期比22.3%減）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

① 当中間会計期間末における資産、負債、純資産の状況は、次のとおりであります。

なお、記載内容は前事業年度末と比較しております。

（資産）

流動資産は、284百万円増加し4,823百万円となりました。これは主に現金及び預金が37百万円、電子記録債権が230百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、132百万円増加し2,438百万円となりました。これは主に投資有価証券が140百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、416百万円増加し7,261百万円となりました。

（負債）

流動負債は、273百万円増加し2,281百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が100百万円、電子記録債務が224百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は、2百万円減少し611百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれている繰延税金負債が41百万円増加したものの、長期借入金が44百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、270百万円増加し2,892百万円となりました。

（純資産）

純資産は、146百万円増加し4,368百万円となりました。これは主に利益剰余金が61百万円、その他有価証券評価差額金が86百万円それぞれ増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて43百万円増加し、1,125百万円となりました。

なお、当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、175百万円（前年同期は75百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の増加額および未払金の減少額の合計が298百万円となったものの、税引前中間純利益および仕入債務の増加額の合計が467百万円となったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、24百万円（前年同期は29百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出および有形固定資産の取得による支出の合計が28百万円となったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、107百万円（前年同期は47百万円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出および配当金の支払額の合計が107百万円となったためであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月12日の決算短信で発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,174,863	1,212,599
受取手形及び売掛金	1,021,817	1,031,196
電子記録債権	316,400	547,044
商品及び製品	1,676,738	1,700,463
仕掛品	93,847	59,250
原材料及び貯蔵品	130,645	139,865
未収入金	58,393	77,645
その他	66,101	55,404
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,538,608	4,823,270
固定資産		
有形固定資産	622,786	605,376
無形固定資産	16,129	16,273
投資その他の資産		
投資有価証券	1,437,093	1,577,846
その他	230,749	239,556
貸倒引当金	△405	△405
投資その他の資産合計	1,667,436	1,816,996
固定資産合計	2,306,353	2,438,645
資産合計	6,844,961	7,261,915
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	524,245	624,684
電子記録債務	366,988	591,817
短期借入金	745,280	730,012
未払法人税等	42,371	58,416
賞与引当金	69,600	66,900
その他	259,731	210,029
流動負債合計	2,008,217	2,281,859
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	120,929	76,475
その他	292,905	334,611
固定負債合計	613,834	611,086
負債合計	2,622,051	2,892,945

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,600	829,600
資本剰余金	509,408	509,408
利益剰余金	2,226,773	2,287,786
自己株式	△87,155	△87,167
株主資本合計	3,478,626	3,539,627
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	724,637	810,922
繰延ヘッジ損益	19,646	18,420
評価・換算差額等合計	744,284	829,342
純資産合計	4,222,910	4,368,969
負債純資産合計	6,844,961	7,261,915

(2) 中間損益計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,635,941	4,328,533
売上原価	3,356,484	3,191,150
売上総利益	1,279,457	1,137,383
販売費及び一般管理費	993,198	988,407
営業利益	286,258	148,976
営業外収益		
受取配当金	14,407	17,964
受取保険金	23,746	501
その他	4,922	4,054
営業外収益合計	43,075	22,521
営業外費用		
支払利息	4,950	7,134
手形売却損	1,094	1,059
電子記録債権売却損	1,855	1,984
為替差損	3,971	468
固定資産処分損	4,990	—
その他	1,514	494
営業外費用合計	18,376	11,140
経常利益	310,958	160,357
税引前中間純利益	310,958	160,357
法人税、住民税及び事業税	90,000	49,000
法人税等調整額	6,319	2,314
法人税等合計	96,319	51,314
中間純利益	214,639	109,043

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	310,958	160,357
減価償却費	39,559	36,188
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,500	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	—	△6,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,800	△2,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	—
受取利息及び受取配当金	△14,641	△18,433
支払利息	4,950	7,134
受取保険金	△23,746	△501
売上債権の増減額(△は増加)	△363,802	△252,472
棚卸資産の増減額(△は増加)	49,899	1,653
仕入債務の増減額(△は減少)	249,860	306,705
未払金の増減額(△は減少)	△68,190	△45,683
その他	△11,221	12,744
小計	158,124	198,390
利息及び配当金の受取額	14,641	18,399
利息の支払額	△5,105	△7,171
法人税等の支払額	△91,676	△33,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,984	175,977
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,000	△16,000
定期預金の払戻による収入	22,000	22,000
投資有価証券の取得による支出	△2,689	△14,911
投資有価証券の売却による収入	305	305
有形固定資産の取得による支出	△25,941	△14,023
無形固定資産の取得による支出	△1,456	△2,780
保険積立金の積立による支出	△5,169	△4,413
保険積立金の払戻による収入	52,360	3,672
その他	5,810	1,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,219	△24,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△45,837	△59,722
社債の償還による支出	△8,250	—
自己株式の取得による支出	—	△11
配当金の支払額	△47,913	△47,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,999	△107,718
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	153,203	43,736
現金及び現金同等物の期首残高	1,102,462	1,082,019
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,255,665	※ 1,125,755

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	1,342,193千円	1,212,599千円
預入期間が3ヵ月を超える定期預金	△86,528	△86,844
現金及び現金同等物	1,255,665	1,125,755

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算書 計上額 (注) 2
	生活関連用品	物流機器	合計		
売上高	2,738,709	1,897,231	4,635,941	—	4,635,941
セグメント利益	64,261	321,617	385,878	△99,620	286,258

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間損益計算書 計上額 (注) 2
	生活関連用品	物流機器	合計		
売上高	2,854,641	1,473,892	4,328,533	—	4,328,533
セグメント利益	96,641	154,134	250,775	△101,799	148,976

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(売上高内訳)

(千円未満切捨)

期 別 品 種 別			前中間会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月 30日)			当中間会計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月 30日)			増 減	
			金 額	構 成 比		金 額	構 成 比		金 額	率
生 活 関 連 用 品	シ ョ ベ ル 類	国 内	千円 353,179	% 92.0	%	千円 348,160	% 89.7	%	千円 △5,019	% △1.4
		輸 出	30,708	8.0		39,772	10.3		9,063	29.5
		小 計	383,888	100.0	8.3	387,933	100.0	9.0	4,044	1.1
	農 業 用 機 器 類 ・ ア ウ ト ド ア	国 内	2,319,930	98.5		2,431,184	98.6		111,253	4.8
		輸 出	34,890	1.5		35,523	1.4		633	1.8
		小 計	2,354,821	100.0	50.8	2,466,708	100.0	56.9	111,886	4.8
	小 計	国 内	2,673,110	97.6		2,779,344	97.4		106,234	4.0
		輸 出	65,599	2.4		75,296	2.6		9,697	14.8
		小 計	2,738,709	100.0	59.1	2,854,641	100.0	65.9	115,931	4.2
物 流 機 器		国 内	1,897,231	100.0		1,473,892	100.0		△423,338	△22.3
		輸 出	—	—		—	—		—	—
		小 計	1,897,231	100.0	40.9	1,473,892	100.0	34.1	△423,338	△22.3
合 計		国 内	4,570,342	98.6		4,253,237	98.3		△317,104	△6.9
		輸 出	65,599	1.4		75,296	1.7		9,697	14.8
		合 計	4,635,941	100.0	100.0	4,328,533	100.0	100.0	△307,407	△6.6